お手入れ・部品交換

- 器具の清掃について ……汚れを落とす場合は、水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。変色・変質、強度低下のよる破損の原因となります。
- 表示板の交換について ……長期使用により、表示効果が低下（変色・退色）した場合は表示板を交換してください。

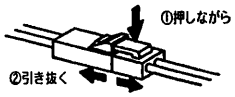
ランプの交換方法

ランプモニターが赤色点滅するとランプの交換時期です。(約6年半毎)
(注)ランプモニターが赤色点滅しなくても、ランプの明るさ低下または変色等の場合ランプを交換してください。

ランプ	CF110T4EN

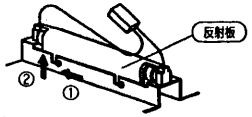
1 枠を開ける

2 ランプコネクタを外す



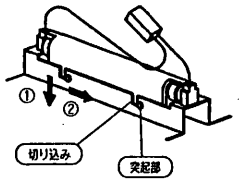
電線を引っ張らないでください。
感電・火災の原因となります。

3 反射板(ランプ付)を外し、ランプを交換する



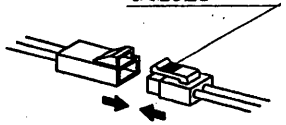
ランプの中央を持って取り扱わないでください。
ランプ破損の原因となります。

4 反射板(ランプ付)を取付ける



4つの突起部を枠の切り込みに確実に取付ける。

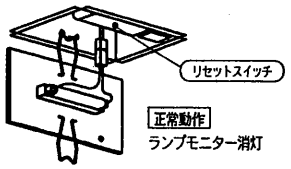
5 ランプコネクタを接続する



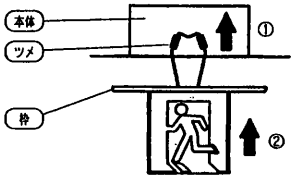
差し込みが不十分だと不点の原因となります。

6 リセットスイッチを押す

電源通電状態でリセットスイッチを押し、ランプが点灯するかを確認する。



7 枠の取付



①本体のツメにバネを差し込む
②枠を押し上げる
この時、電線をはさまないでください。
感電・火災の原因となります。

三菱電機照明株式会社　〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船2-14-40　☎ (0467) 41-2728

取説No.E766Z977H20

MITSUBISHI　ルクセントスクエア（一般屋内用）　取扱説明書

保管用

（天井埋込形）　KST1431［C級（10形）避難口　片面型］〔電源別置型〕

認定

- 器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明　**工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。**

安全に関するご注意

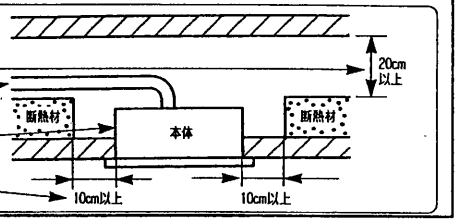
⚠ 警告

- 施工は、取付方法にしたがい確実に行ってください。
  施工に不備があると非常点灯せず、正しい避難誘導ができないほか、火災・感電・落下の原因となります。
- 断熱材、防音材をかぶせて使用しないでください。火災の原因となります。
- 器具を改造しないでください。火災・感電の原因となります。
- 天井埋込専用ですので、壁取付・天井直付・斜め天井取付はしないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 表示された電源電圧・周波数以外の電源で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
  （常時AC100V±6V、非常時DC100V［変動範囲DC85～DC145V］）

断熱材・防音材をご使用の場合

器具の異常や火災の原因となりますので下図のように施工してください。

- 断熱材・防音材の上部は20cm以上の空間が必要です。
- 電気配線は断熱材・防音材の上側にしてください。
- 器具の放熱穴等をふさがないでください。
- 断熱材・防音材と器具は10cm以上離してください。

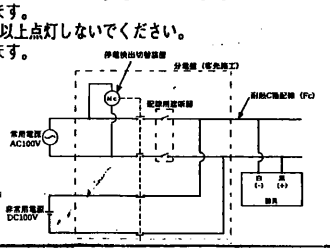


⚠ 注意

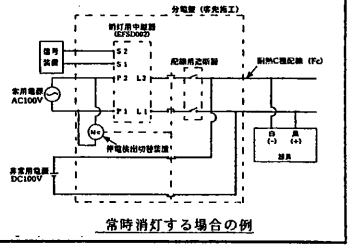
- この器具は一般屋内用器具です。雨水のかかる場所、湿気の多い場所、直射日光の当たる場所、振動の強い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃以外では使用しないでください。火災及び非常点灯しない原因となります。
- この器具の非常用電源までの配線は耐熱配線としてください。　非常時に点灯しない原因となります。
- この器具は連続点灯専用器具で消灯できません。常時の電源は誘導灯専用回路とし途中にはスイッチを設けないでください。
  非常点灯しない原因となります。
- この器具の直流回路には極性がありますので、黒側に［＋］、白側に［－］を接続してください。
  故障および非常点灯しない原因となります。
- 非常点灯（直流点灯）は連続して2時間以上点灯しないでください。
  故障および非常点灯しない原因となります。

配線種類

この器具は2線配線専用です。



常時消灯しない場合の例



常時消灯する場合の例

器具の取付方法

＊次のページに続く

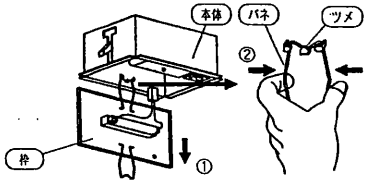
1 取付前の確認

器具質量(1.1kg)に十分に耐えるよう取付部の強度を確保する。
強度不足ですと、落下の原因となります。

ロックウール等のやわらかい天井に取付ける場合は、必ず取付金具と天井の間に補強材（鉄板、木片等）を入れてください。
補強材なしの場合、光モレの原因となります。

2 枠の取り外し

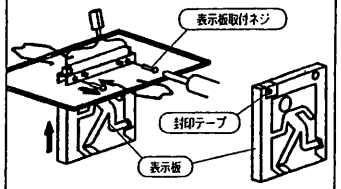
枠を本体から取り外す。
①枠を引っ張って開ける。
②バネをつまんでツメ(3点側)から外す。



器具の取付方法（続き）

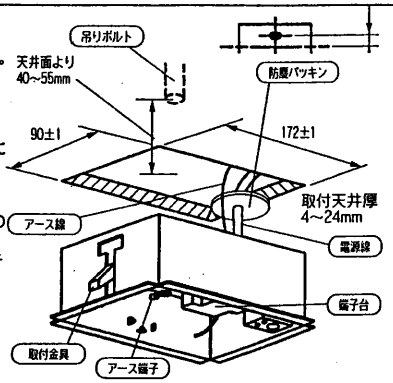
3 表示板の取付

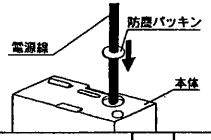
①表示板取付ネジを外す。
表示板の封印テープを外す。
封印テープを外した後、逆方向にしないでください。
内表示板の落下・破損の原因となります。
②避難方向を確認し、取付ネジで確実に取り付ける。
取付に不備があると正しい避難誘導ができないほか、落下の原因となります。



4 電源線、アース線の接続

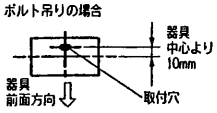
- 付属の防塵パッキンを電源線に通す。
（端子台から送り配線する場合はパッキンは不要です。）
- 直流電源の極性を確認し、電源線、を接続する。
（直流電源は黒側に［+］、白側に［−］を接続）
端子台の容量は20Aです。
- D種(第3種)接地工事を行う
接続が不完全な場合、容量オーバーの場合、火災・感電の原因となります。
- 端子台が隠れるように、防塵パッキンを本体に密着させる。





5 本体取付

ボルト吊りの場合



取付金具による取付方法

①押し出す　②強く引き下げる
取付金具はつまんで引き下げないでください。
天井とのすきまの原因となります。

6 枠の仮取付

枠の穴の方向を合わせ、バネをつまんでツメ(3点側)にひっかける。

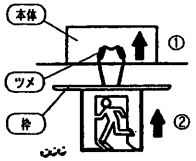
7 ランプコネクタの接続

- ランプコネクタを接続する
赤色表示が見えなくなるまで差し込む

接続が不十分ですと不点の原因となります。

8 枠の取付

- 取り付ける際の線かみに注意してください。
火災・感電の原因となります。

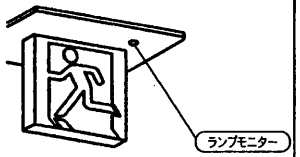


①本体のツメにバネを差し込む
②枠を押し上げる

9 点灯の確認

- 電源通電状態(常時および非常時)でランプが点灯するか確認してください。
ランプモニターは消灯

正常に動作しない場合は『故障かな？と思ったときは』を参照し確認してください。



故障かな？と思ったときは

●表に従ってお調べいただき、なお異常がある場合は、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。

現　象	考えられる原因	処　置
ランプが点灯しない	インバータ発振停止モードになっている。	電源を入れ直す。（それでも点灯しない場合は、リセットスイッチを押す。）
	ランプコネクタが外れている。	ランプコネクタを確実に接続して電源を入れ直す。
	ランプ交換後、リセットスイッチを押していない。	ランプ交換後は、リセットスイッチを押す。
	ランプが破損している。	ランプを交換してリセットスイッチを押す。
表示面が暗い	周囲温度が5~35℃の範囲外である。	5℃以下の場合暗くなる。
	ランプの寿命である。	ランプを交換してリセットスイッチを押す。
	非常点灯状態になっている。	常用電源に切り替える。
表示面に影・ムラがある	コネクタやリード線がランプより手前にきている。	表示面に映らない様、コネクタ、リード線を処理する。
	器具に不適合の表示板を使用している。	表示板を確認して適合のものに交換する。
ランプモニターが点滅している	ランプの寿命である。	ランプを交換してリセットスイッチを押す。
	ランプ交換後、リセットスイッチを押していない。	ランプ交換後は、リセットスイッチを押す。
ランプモニターが点灯している	ランプコネクタが外れている。	ランプコネクタを確実に接続して電源を入れ直す。
	ランプ交換後、リセットスイッチを押していない。	ランプ交換後は、リセットスイッチを押す。
非常点灯しない	非常用電源の接続不良	正しく接続する。

取説No.E7662977H20

取扱説明　お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

●ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠警告

●器具を改造しないでください。火災・感電の原因となります。
●万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のままで使用すると、感電・火災の原因となります。
すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。
●アルカリ系洗剤は使用しないでください。強度低下による破損の原因となります。

⚠注意

●ランプ両端のゴムブッシングおよび内蔵部品ケースは、絶対に外さないでください。感電の原因となります。
●照明器具には寿命があります*1。3~5年に一回は、工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切に処置してください。放置すると、火災の原因となることがあります。
●点検時、非常点灯（直流点灯）は連続して2時間以上点灯しないでください。　故障の原因となります。

*1　照明器具は、使用条件、使用環境で異なりますが、8~10年が取り替え時期の目安です。

使用上のご注意

●コネクタ、リード線は（器具の取付方法）、（お手入れ・部品交換）にしたがい表示面に映らないように処理してください。
●ランプモニター……ランプモニターは、ランプの寿命や異常などをお知らせするものです。
【赤色点滅】　ランプ交換時期の目安です。器具設置後又は、ランプ交換後約6年半をタイマーでカウントし、ランプ交換時期の目安を赤色点滅でお知らせします。
【赤色点灯】　ランプ又は、ランプの接続に異常が発生しています。
ランプモニターが点滅したら（ランプの交換方法）にしたがって交換してください。
(注)　ランプモニターが点滅しなくてもランプの明るさ低下または変色等の場合ランプを交換してください。
点検方法……電源別置型ですので点検スイッチはついておりません。点検は次の手順で行ってください。
1. 一般電源を切る。
2. 予備電源装置により通電し、非常点灯するかを確認してください。
（一般電源が入った状態では非常点灯の確認はできませんのでご注意ください。）

器具定格・接続図

定格

		KST1431
常時	定格電圧	AC100V
	入力電流	0.055A
	入力電力	3.5W
非常時	定格電圧	DC100V
	入力電流	0.035A
	入力電力	3.5W

接続図